

## 会社概要

2017年9月30日現在

商号	テクノホライゾン・ホールディングス株式会社 (英文名: TECHNO HORIZON HOLDINGS CO., LTD.)	資本金	25億円
設立	2010年4月1日	従業員数	10名 (連結891名)
事業内容	テクノホライゾングループの事業内容は「光学事業」と「電子事業」に分類され、テクノホライゾン・ホールディングス株式会社は傘下の事業会社の経営管理を行っております。	主要子会社	株式会社エルモ社 株式会社中日諏訪オプト電子 株式会社タイテック
所在地	〒457-0071 愛知県名古屋市南区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1 TEL. 052-823-8551 (代)	ホームページ	<a href="http://www.technohorizon.co.jp">http://www.technohorizon.co.jp</a>
代表者	代表取締役社長 野村 拓伸		

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

テクノホライゾングループ平成30年3月期第2四半期(2017年4月1日から9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたりましてごあいさつ申し上げます。

当社グループは、IT化が一層進む「教育」市場、中国を中心に自動化ニーズが高まる「FA(Factory Automation: 工場の自動化)」市場、高度化が求められる「医療」市場、セキュリティや自動車関連などのマーケットがさらに進化する「安全・生活」市場の4つの市場を重点市場と定め、活動を強化しております。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高が9,367百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。営業利益は、事業構造改革が進んだ結果、固定費の削減や販売する製品の構成が改善し、利益率の高い製品の販売が進み、473百万円(前年同四半期比356.9%増)となりました。為替差益を57百万円計上したことにより、経常利益は518百万円(前年同四半期は経常損失151百万円)となりました。また、子会社の固定資産譲渡の決定に伴い減損損失を198百万円計上し、一方で土地評価に係る繰延税金負債の取り崩しにより法人税等が93百万円減少したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は283百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失293百万円)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

## ① 光学事業

光学事業では、主要ビジネスである書画カメラ事業において、日本、米国、欧州の教育市場向けに製品ラインナップの増加や関連する機器を強化することで市場シェア確保に努めております。また新興国市場では、新たな販路拡大を進めております。もう一方の主力事業としてきた光学ユニット事業におきましては、付加価値の高いユニット販売が進み利益率が改善しました。

これらの結果、光学事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は6,092百万円(前年同四半期比7.6%減)、営業利益は138百万円(前年同四半期比2.9%増)となりました。

## ② 電子事業

電子事業では、国内設備投資の回復や人手不足が続くことで、FA関連機器の販売が順調に推移しました。FA中国現地法人も、中国での人件費上昇による省力化ニーズは強く、堅調に推移しました。

その結果、電子事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,275百万円(前年同四半期比4.9%減)、営業利益は394百万円(前年同四半期比569.5%増)となりました。

当社グループの特徴は「オプト(Optics: 光学)」と「エレクトロニクス(Electronics: 電子)」両分野の最新テクノロジーを広くカバーしていることであり、それが最大の強みとなっております。私共は今後、グループ事業会社が保有する開発力、市場ノウハウ、チャネルを融合し、注力している4つの市場に向けてグループシナジー(2つ以上の要素を結びつけて、相乗効果を出すこと)を強化・深化します。そうして「売る力」「創る力」「造る力」「コスト競争力」を磨き、新製品開発並びに営業活動を積極的に推進してまいります。

株主の皆様には引き続きテクノホライゾングループへの変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 野村 拓伸

## 安全・生活市場における事業展開

テクノホライズングループは、「教育」「FA」「医療」「安全・生活」の4つの重点市場に対し、光学と電子を融合させた付加価値の高い製品投入を基本戦略としています。今回は、「安全・生活」市場の中でも生活分野の製品をご紹介します。

### 訪日外国人も手軽に利用できる決済端末 FP-1



昨今の訪日外国人旅行者の増加に伴い、クレジットカードでの決済サービスに加えてスマートフォンとQRコードを利用した決済サービス（モバイル決済）の需要が高まっております。

株式会社エルモ社 ファインフィットデザインカンパニーでは、国内では初めてQRコード対応型マルチ決済端末『FP-1』を開発いたしました。QRコードスキャナ、カラー液晶、オートカットプリンタを搭載し、QRコードの読み取りから利用明細の印刷まで、店頭での円滑でスピーディな処理を実現しました。また、標準で有線LAN接続、LTE通信が可能で、オプションにより無線LANにも対応可能なため、一般店舗やホテルでのご利用にはじまり、移動販売車、屋外イベント会場など場所を選ばず様々な場所・シーンでQRコード決済をご活用いただくことができます。



### クラウド録画型防犯カメラ CC-2



株式会社エルモ社では2015年5月より「カメラとスマホでカンタンホームセキュリティ」をキャッチフレーズに、クラウド録画型防犯カメラ『QBIC CLOUD CC-1』を販売してまいりました。クラウド録画型防犯カメラ『QBIC CLOUD CC-1』は、従来型の防犯カメラに必要なハードディスクを搭載した録画機を必要としないため、専門的な知識や設置工事を気にすることなく、DIY感覚でどなたにでも気軽にご利用いただける本格的防犯カメラとして個人ユーザー様から飲食店経営者様、不動産管理会社様など幅広いお客様にご愛用いただいております。

この度、クラウド録画型防犯カメラシリーズ第2世代シリーズとして『QBIC CLOUD CC-2』を販売しました。『QBIC CLOUD CC-2』はご利用の簡便さはそのままに、カメラの基本性能を大幅に向上、屋内用として事務室やリビングなどの空間に設置しても親しみやすく、やさしいデザインを採用、一般販売は7月31日（月）よりAmazonにてお取り扱いをいたしております。（税別19,800円で発売中）



### 通信モジュールを搭載したドライブレコーダ THD-501



近年、交通事故による記録や悪質なドライバーに対する抑止力等の為に、ドライブレコーダを導入するニーズが広がっています。トラックやタクシー、営業車など商用車両を運行する事業者様向けにトータルソリューションを提供する株式会社エルモ社 ファインフィットデザインカンパニーは、通信モジュールを搭載したドライブレコーダを発売しています。Full HDで高画質録画を実現するとともに、ICカードリーダーを搭載しており社員証などのカードと連携させ、運転手の管理を簡単に行うことができます。また、通信モジュールにより、運行データはもとより、危険運転などのイベント動画を瞬時にクラウドサーバへアップロードできます。いち早く運行管理者が把握することが可能で、IoT（Internet of Things）時代における安全性やサービス品質の向上を実現しています。



### エルモ社が取り扱う監視カメララインアップ



街中や店舗内で監視カメラを設置することは定着しましたが、用途の広がりとともに、ニーズも多様化しています。監視カメラを販売する株式会社エルモ社では高画質はもちろんのこと、高倍率ズーム機能や、防水・耐衝撃設計、昼はカラー録画、夜は白黒録画に自動で切り替えることで、24時間エンドレスで稼動が可能な監視カメラ等のラインアップを充実させ、皆様の生活に役立っています。



EAH-S700VP



EAH-S350VP

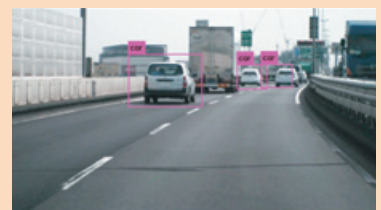


PTC-400HD

## トピックス



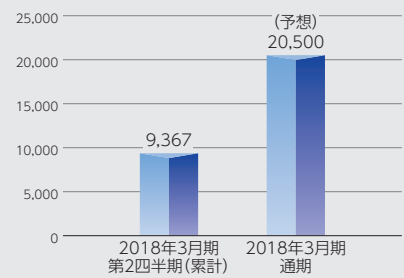
NVIDIA社のAIスーパーコンピュータモジュールJetson TX1・TX2はAIプラットフォームとして世界をリードしています。株式会社タイテック グラフィンカンパニーでは、当該モジュールを組み込み、複数の画像を同時処理できるようにする等、拡張性の高いプラットフォームを実現した『GT-X1・X2』の販売を開始しました。本製品は、高度な画像処理が可能で、ディープラーニングを用いたユーザシステムの開発や検証、自律ロボット制御システム、各種画像処理システムに最適な組み込みプラットフォームです。今後は、顧客独自のカスタム要求や量産供給にも対応し、ユーザの要望に応じてシステム構築し販売していきます。



# 連結業績ハイライト

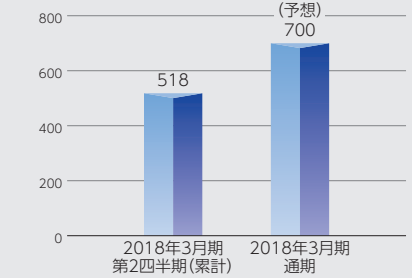
## 売上高

(百万円)



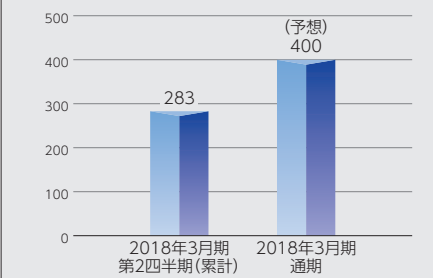
## 経常利益

(百万円)



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



## 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第2四半期末 2017年9月30日
<b>資産の部</b>	
流動資産	13,189
固定資産	6,189
資産合計	19,378
<b>負債の部</b>	
流動負債	12,231
固定負債	1,940
負債合計	14,172
<b>純資産の部</b>	
株主資本	4,744
その他の包括利益累計額	462
純資産合計	5,206
負債純資産合計	19,378

## 第2四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第2四半期累計 自2017年4月1日 至2017年9月30日
売上高	9,367
売上原価	6,825
売上総利益	2,542
販売費及び一般管理費	2,068
営業利益	473
営業外収益	75
営業外費用	30
経常利益	518
特別利益	2
特別損失	199
税金等調整前四半期純利益	321
法人税等	38
四半期純利益	283
親会社株主に帰属する四半期純利益	283

## 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

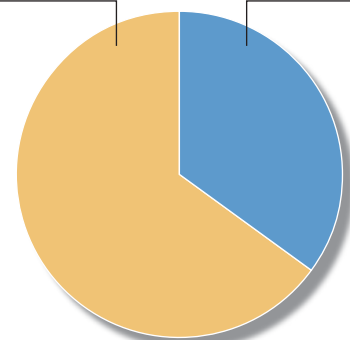
(単位：百万円)

科 目	第2四半期累計 自2017年4月1日 至2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△123
財務活動によるキャッシュ・フロー	491
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6
現金及び現金同等物の増減額	1,241
現金及び現金同等物の期首残高	1,825
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,067

## 事業別売上高構成

売上高 9,367百万円

光学事業 6,092百万円 65.0%  
電子事業 3,275百万円 35.0%



株式の状況

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	21,063,240株
株主数	4,345名

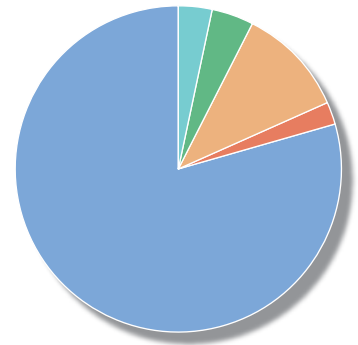
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
テクノホライゾン・ホールディングス従業員持株会	375	2.79
榑 泰彦	295	2.20
第一生命保険株式会社	290	2.15
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
榑 信之	236	1.76
榑 雅信	227	1.69
榑 文男	221	1.64
株式会社SBI証券	176	1.31

(注) 1. 当社は、自己株式7,585千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。  
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

所有者別状況

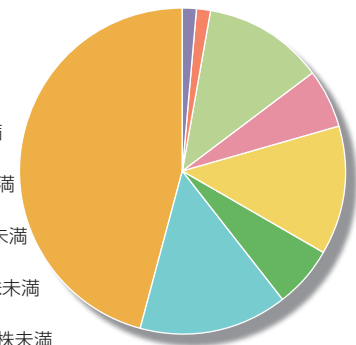
金融機関	738千株	3.50%
金融商品取引業者	892千株	4.24%
国内法人	2,265千株	10.76%
外国法人等	463千株	2.20%
個人・その他	16,703千株	79.30%



(注) 自己株式7,585千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

所有数別状況

100株未満	7千株	0.03%
100株以上～500株未満	331千株	1.57%
500株以上～1,000株未満	259千株	1.23%
1,000株以上～5,000株未満	2,541千株	12.07%
5,000株以上～10,000株未満	1,212千株	5.76%
10,000株以上～50,000株未満	2,688千株	12.76%
50,000株以上～100,000株未満	1,312千株	6.23%
100,000株以上～500,000株未満	3,059千株	14.53%
500,000株以上	9,650千株	45.82%



2017年9月30日現在

役員紹介

代表取締役社長 野村 拓伸  
常務取締役 水上 康  
取締役 豊田 彰

社外取締役 玉置 浩一  
社外取締役 寺澤 和哉

常勤監査役 渡邊 哲也  
社外監査役 原田 彰好  
社外監査役 飯田 浩之  
社外監査役 井上 龍哉

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日  
定時株主総会 毎年6月  
株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日  
(2) 中間配当を行う場合 9月30日  
(3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒183-0044  
東京都府中市日鋼町1-1  
Tel. 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電子公告により行います。  
公告掲載URL <http://www.technohorizon.co.jp>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライゾン・ホールディングス株式会社

〒457-0071  
愛知県名古屋市中区千代通（チカマトオリ）二丁目13番地1  
TEL. 052-823-8551 (代)

